

みやしる

議会だより

No. 118
2021.5.1

宮代町立百間中学校入学式



未来に向かって発進
(百間中学校)

令和3年度一般会計予算

104億円で新年度スタート 2

令和3年度一般会計補正予算

ありがとう商品券進呈に議論集中 6

町政をただす 一般質問に13人が登壇 10

町民の声・編集後記 24



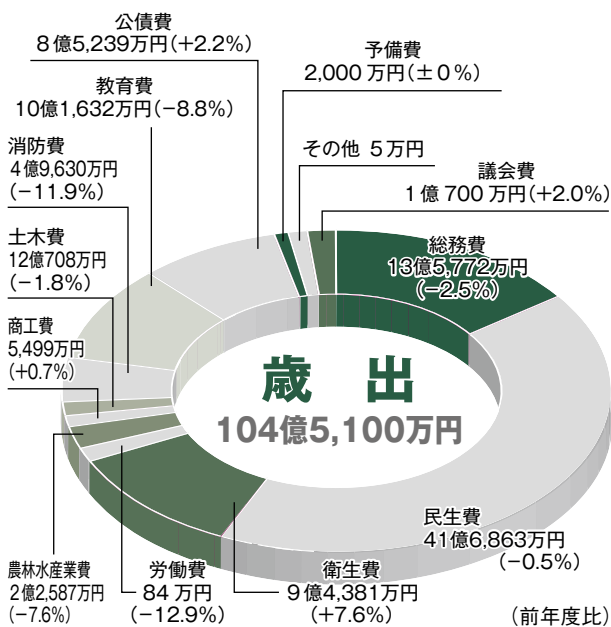
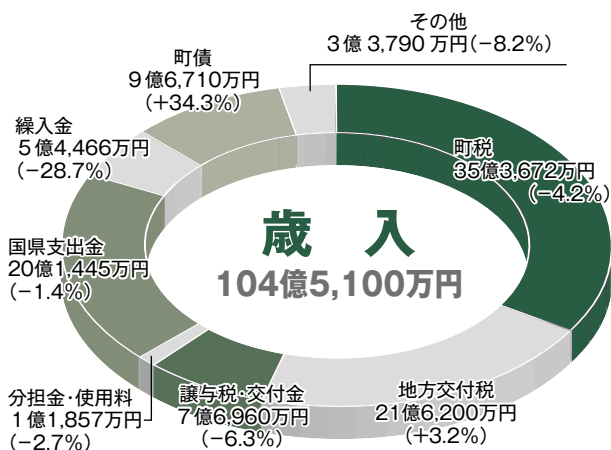
宮代町議会HP
QRコード

令和3年度一般会計予算

104億円で新年度スタート

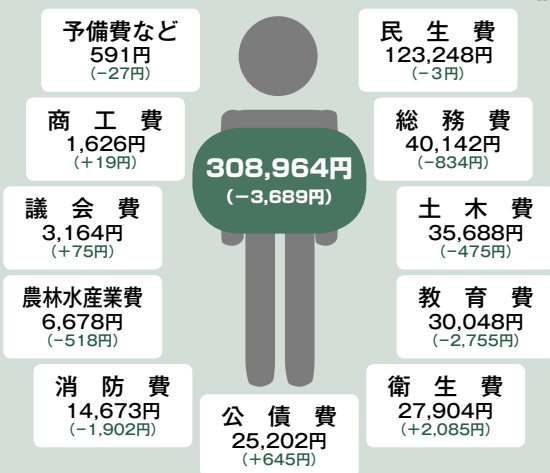
3月定例議会は、2月18日から3月22日まで33日間にわたって開かれました。町長から令和3年度一般会計予算や令和2年度一般会計補正予算など22件が提案され、審議の結果、21議案が可決しました。令和3年度一般会計補正予算（第1号）は否決しました。また、議員提出の「重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める」意見書は全会一致で可決しました。一般質問では、13人の議員が質問に立ち、町政をただしました。

一般会計予算の内訳



一般会計歳出予算の町民1人当たりの金額

(前年度比)



※人口33,823人（令和3年3月1日現在）
※数字は四捨五入をしています。合計金額は各予算を足したものです。

主な使いみち

進修館管理事業	1億3,572万円
防災活動事業	3,055万円
地域コミュニティ活性化事業	2,416万円
交通安全対策事業	915万円
みやしろの魅力推進事業	394万円

生活・環境

指定管理者の選定には民間企業のノウハウを

問 公共施設を指定管理者にするメリットは、行政ではできない施設の運営をして、町民が公共施設の恩恵を享受することにある。民間企業のノウハウなどを活かす工夫をしているのか。

答 募集に際しては、指定管理者のポータルサイトなどに掲載したり、また、施設によっては近隣で同様の運営を行っているような事業者に手紙などで声がけしたりとか、広く、たくさんの方に

募が来るようにしている。

問 防犯灯の新設は何台か。

答 防犯灯の設置要望は7月まで受付。その後、現場を確認して、設置の可否を決定する。

問 町民の皆さんにハザードマップの見方や活用方法の講習会などを開く予定は。

答 自治会などから講習会、活用方法について話をいただいた際には、地区に向向いての説明を考えている。



期待されるタクシー助成事業

主な使いみち

OA 管理事業	1億1,225万円
便利バスが走る事業	3,062万円
高齢者等タクシー助成事業	835万円
公共施設マネジメント計画策定事業	950万円
顧問弁護士委託事業	184万円

総務・財政

公共施設マネジメントには専門企業を

問 公共施設マネジメントで、全国で注目されている民間企業を計画メンバーに入れるべきと思うが。

答 次の公共施設マネジメント計画の重点をどこに置くかを検討するので、それに応じた人選をしていきたい。

問 報告書では機能集約により、建物は原則なくす方向。10年経ち、取り壊されたとか、減ったとかは見当たらないが。

答 取り壊す際に多額の費

用がかかる。有効活用できる場合には活用している。

問 高齢者等タクシー助成制度が始まると、便利バスに影響はあるのか。

答 バスとタクシーそれぞれ時間的に、空間的に補完し合うような形で、町の地域公共交通をなしていく。

問 「チームみやしろ」のウェブページを新たに作る必要はないと考えるが。

答 工夫が必要と考えている。



指定管理者のメリットを活かしていきたい

主な使いみち

都市計画道路整備事業	1億3,291万円
東武動物公園駅東口周辺整備	1億9,495万円
東武動物公園駅西口周辺整備	8,461万円
宮代ブランド創造事業	3,915万円
新しい村管理事業	3,805万円

建設・観光

和戸駅周辺整備の予算は0円

問 東武動物公園駅西口から新しい村までの「わくわくロード」800万円は緊急性があるのか。和戸駅周辺整備は0円。バランスがおかしいのでは。

答 わくわくロードは他市町へつながる広域ネットワークという位置づけではない。和戸駅の周辺整備は、事業化を考えている。**問** 和戸駅周辺活性化事業は、本気で取り組むのか。**答** まだ何も決まっていな

い状況。整備手法も含めて、条件などを整理するため来年度は調整を図っていく。**問** 新しい村を魅力的な空間にする「新しい村魅力アッププラン」を作成するまで、2年半というのは、長過ぎではないか。

答 基礎調査をかけてから報告書をまとめるまで最低でも1年はかかる。消費者や生産者の流れ、東武ストアや無印良品の動きなどを見定めていきたい。



新たな福祉の拠点となる「すてっぶ宮代」

主な使いみち

障害者総合支援事業	7億793万円
学童保育所運営事業	1億2,024万円
こども医療費支援事業	1億231万円
みやしろ保育所運営事業	4,792万円
西原自然の森活用事業	161万円

保健・福祉

「すてっぶ宮代」5月6日オープン

問 福祉交流館すてっぶ宮代の進捗状況は。

答 社会福祉協議会で工事を発注し、工期は令和3年3月19日まで。5月6日にオープン予定で進めている。

問 使用料、1時間300円は高いのでは。

答 一部屋単位での1時間当たりの300円と想定している。貸出し規定については、現在、社協で作成中。**問** 手話通訳者や要約筆記

者派遣の、昨年の実績は。

答 延べ利用者数が3名、支給総額は62万4000円。**問** こどもの発達支援巡回事業の活用状況は。

答 令和2年度は、コロナ禍で縮小になったが相談支援事業所みぬま福祉会に委託をし、希望のある保育園、幼稚園からの気になる子どもへの助言を行った。令和3年度は例年事業に加えて一歩踏み込んだ支援もしていく。



魅力アップが望まれる「新しい村」

反対討論

丸藤 栄一 議員

◆感染対策を最優先に町民の命と暮らしを守ること。◆久喜宮代衛生組合の負担金増額の撤回を。◆町の女性幹部職員の比率の倍化を。

賛成討論

塚村 香織 議員

宿泊型産後ケア、教育支援センター準備、敬老会補助金などコロナ禍の時代に合った新事業や、新たなフェーズに期待し賛成する。

反対討論

西村 茂久 議員

本予算は評価できる事業も多々あるが久喜宮代衛生組合負担金算定の変更に伴う町負担金2000万円増などについては承認し難く反対。

賛成討論

土淵 保美 議員

より良い宮代町になるように令和3年度から始まる宮代町ならではの住民主体による多くの事業に期待し賛成とする。

反対討論

小河原 正 議員

昭和36年から歴史ある久喜宮代衛生組合の予算は人口割から処理量割に突然変更。久喜市は減額、宮代町は約2,000万円の増額に反対。

賛成討論

泉 伸一郎 議員

東武動物公園駅東西口周辺整備事業、西原自然の森活用事業や高齢者等タクシー利用助成事業などに予算を重点配分され評価する。

反対討論

金子 正志 議員

◆コロナ対策最優先にし、ソフト事業は見直す
◆第5次総合計画はコロナが落ち着いてから
◆長期的、広域的な視点を持って予算を組む

賛成討論

丸山 妙子 議員

衛生組合議会議員として跡地利用や組合が今後スムーズに事業を委託し、町民のごみ出しに不都合が起きないようにするため賛成。

賛成討論

浅倉 孝郎 議員

評価の高い事業は多くあるが、久喜宮代衛生組合の分担金変更は疑問が残る。コロナ禍で住民の命を守る事業を推進するため賛成とする。



庁舎に展示された「オリンピック聖火リレートーチ」

主な使いみち

学校給食運営管理事業	3億1,391万円
図書館管理運営事業	8,892万円
総合運動公園管理事業	5,714万円
東京2020オリンピック聖火リレー事業	730万円
小中学校適正配置事業	42万円

教育・文化

オリンピック聖火リレー

問 聖火リレーについてどのような見解か。

答 公募で選ばれた中学生がいます。可能であればチャンスを与えてあげたい。宮代町は、杉戸町と一緒に開催をする。コロナ禍での対応の在り方をきちんと調整をして、開催に当たりたい。

問 中学校の部活動の状況は。

答 3つの中学校とも部活動に入るこの強制はない。未加入の生徒は、最近はや

球とかサッカーなどの、クラブチームに加入する生徒が多くなっている。

問 コロナ禍で、給食費に未納が出た場合の対応は。

答 担任の先生、学校の事務職員、場合によっては教頭先生が保護者に直接連絡をして、できる限り年度内に納めるように働きかけている。過年度の未納となった場合については、教育委員会が働きかけを行い相談に応じていく。

「ありがとう」に質疑が集中!

歳入

主な財源	金額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1億5,023万円
保育対策総合支援事業費補助金	188万円
児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金	772万円

歳出

主な事業	金額
高齢者入所施設従事者PCR検査実施委託	663万円
ワクチン接種者へご当地商品券「ありがとう」進呈	6,536万円
子ども見守り強化事業	772万円
スマホキャッシュレス決済ポイント付与キャンペーン	1,498万円
小学校低学年トイレ様式化工事	4,000万円
庁舎LAN増設	127万円
郷土資料館作業室等空調設備更新	253万円

最終日の3月22日、令和3年度一般会計補正予算は本会議において審議され、ワクチン接種者へご当地商品券「ありがとう」進呈について、集中的に質疑が行われました。審議の結果、賛成6、反対7で否決しました。

主な質疑

問 マスコミを通じてとりあげられたが、ありがとう商品券についての町民の感触はどうか。

答 商店の方は地域の活性化につながるという声。一方で、商品券で接種を促すというのはいかがなものか、といった厳しい意見もあった。

問 ワクチン接種に6000万円を使う必要がある。

答 65歳以上の方が1万1000人、16歳から64歳が1万9000人で合計3万人。2回の接種なので、6万回の接種を予定している。

問 各会場のスタッフの体制は。

答 医師が2名、看護師が6名、その他誘導員、または予診票の記入の指導などで15人ぐらいは予定している。

要はあったのか。

答 国からの交付金なので、それを活用してみんながワクチン接種をしていくための一つのきっかけになればと考えた。

問 接種者の3万人の内訳は。

答 5月6日から接種を開始し、順調にワクチンが入れば11月いっぱい、または年内ぐらいに終了する予定を立てている。

問 宮代町には4月26日の週に、初めてワクチンが分配される予定か。また、接種のスケジュールは。

答 宮代町には4月26日の週に、初めてワクチンが分配される予定か。また、接種のスケジュールは。

【ワクチン接種のスケジュール】

■接種対象となる方

16歳以上の全町民＝①医療従事者（県が実施）
②高齢者（65歳以上） ③高齢者以外で基礎疾患のある方
④高齢者施設などで働いている方 ⑤60歳～64歳の方 ⑥16歳以上で上記に該当しない方

■接種スケジュール

1回目の接種 5月6日（木）～
2回目の接種 1回目の接種から概ね3週間後

■接種場所

①進修館 ②ぐるる宮代（総合運動公園）

■接種を受けるまでの手続き

①クーポン券が届く（接種券と予診票） ②予約をする ③ワクチンを接種する

※今後、内容を変更する場合があります

問 新型コロナウイルス感染症や、ワクチンの副作用、変異ウイルス、基礎疾患などへの不安もあり、今回のワクチンについては、まだ受けられないという方もいると思う。これらをどのように克服してワクチン接種を進めていくのか。

ワクチン接種者へ ご当地商品券



ワクチン接種が始まります

問 町の広報、その他接種券上にも、ワクチンの特徴などを町民の方に詳細に説明をしていきたい。

答 住民の中には「ありがたい商品券欲しさで接種を受けるわけではない。もっと必要なところへ予算を使うべき」との声にどう応えるのか。

問 隣の杉戸町では、ワクチンの集団接種会場への交通の便を図るために、町の巡回バスを土日にも運行し、乗車する場合は無料である。また、集団接種会場までのタクシー代も補助し、障がい者や要介護者など約3300人を対象に行うとのこと。

宮代町では、町長選挙が予定されており、誤解を招くことにならないか。

答 そういう意見があるとすれば、非常に残念であり、悲しい話である。

問 ありがたい商品券が、いい制度だということ、宮代町に追随

するような自治体があったのか。

答 他自治体からは2、3、問合せがあったのは事実である。

問 ありがたい商品券の案は、どこから出てきたのか。

答 関係課と町長、副町長と協議した結果、接種に対する感謝の気持ちと、地域の経済活性化につながるということで、町として決定をした。

問 独り暮らしの高齢者で、接種を受けたくても受けられない。接種会場や、かかりつけの病院に行くこともできない、そうした方々に対してどうするのか。

答 現在、集団接種のほか、個別接種ということで、町内の医療機関と調整を図っている。また、問診、往診、訪問診療によって自宅にないがらにして接種できるように、関係する医療機関と調整を進めている。

反対討論 浅倉孝郎議員
ありがたい商品券は、あくまでも目の前の短期的で、対処的な対策である。もっと長期的に、必要とされるところに使つべきである。

反対討論 丸山妙子議員
ありがたい商品券を配るなら、学校トイレの充実、PCR検査を学校の先生、保育士、学童指導員などに充ててもらいたい。

反対討論 西村茂久議員
分断と偏見をもたらし、公平さを欠く、ありがたい商品券には強く反対する。誰もが納得できる事業への配分を求める。

反対討論 丸藤栄一議員
ありがたい商品券を含めた6536万円は撤回しないと、町民からの賛同は得られない。お札に多額の金額は必要ない。

一部事務組合の令和3年度予算

久喜宮代衛生組合

39億2,787万円（前年度比0.4%増）

構成／久喜市、宮代町の1市1町

主な収入／負担金 30億7,432万円（宮代町は5億4,467万円）

主な支出／塵芥処理費（ごみ処理量）27億2,751万円
（うち委託料21億8,513万円）



広域利根斎場組合

2億9,151万円（前年度比23.6%増）

構成／加須市、久喜市、幸手市、宮代町の3市1町

主な収入／負担金 1億2,500万円（宮代町は1,012万円）
施設使用料 9,252万円

主な支出／斎場管理委託料8,791万円・需用費（燃料など）4,509万円



埼玉東部消防組合

61億6,700万円（前年度比5.7%増）

構成／加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町の4市2町

主な収入／負担金 60億3,768万円（宮代町は4億6,132万円）

主な支出／常備消防費 56億6,339万円
常備消防施設費 2億2,650万円



意見書

**重度心身障害者医療費助成制度の
拡充を求める意見書**（全会一致で可決）

埼玉県議会では平成30年12月定例会において「精神障害者保健福祉手帳2級所持者を『重度心身障害者医療費助成制度』の対象とするよう求める請願」が採択されました。

重度心身障害者医療費助成制度は、障がいがある方とその家族の経済的負担を軽減するため、医療機関を受診した場合の一部負担金を県と市町村で助成する制度です。対象者は、身体障害者手帳1～3級、知的障がいは療育手帳マルA、A、B、精神障がいとは精神障害1級のみ対象で、精神障害2級は対象外になっています。

精神障がいはいは見た目に



は分かりにくく、仕事や勉強、家庭生活が思うようにできない「生きづらさ」を抱えています。安定した生活を送るためには長期にわたって薬を服用し続けることが大事です。精神障害2級の多くの方は安定して働き続けることが困難で、経済的に困窮している世帯が多いのが現状です。生活を守る施策として医療費助成制度の拡充を要望します。

議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対
 - 議長は採決に加わらない。

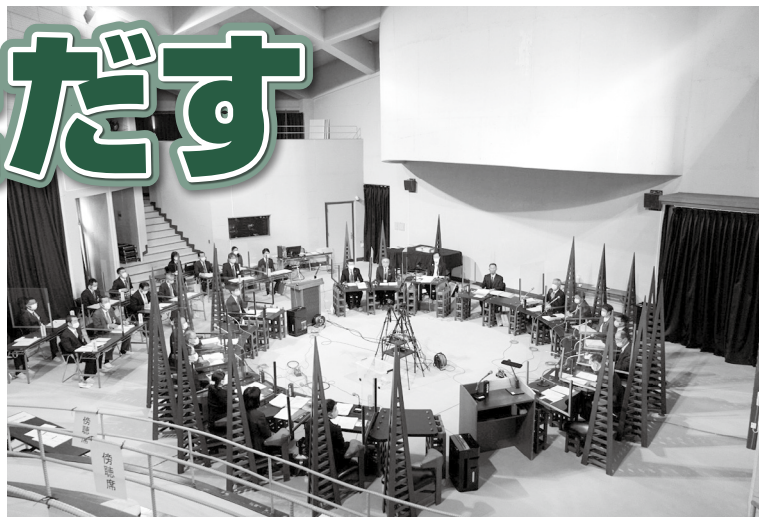
議案番号	議案	主要内容	議案結果	日本共産党	無会派	政策会議				公明党		令和 新風の会				議長		
				2人	1人	かがやき	4人	2人	2人	4人	4人	4人	4人					
				山下秋夫	丸藤栄一	九山妙子	浅倉孝郎	金子正志	西村茂久	小河原正	泉伸一郎	角野由紀子	塚村香織	合川泰治	土淵保美	川野武志	田島正徳	
1	専決処分の承認を求めること 令和2年度一般会計補正予算（専決第2号）の承認	新型コロナウイルス ワクチン接種事業	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
2	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	長期譲渡所得に係る課税の特例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	夏季休暇を6～9月までの4か月にする	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4	介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険料を2%引き上げる	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5	児童福祉審議会条例の一部を改正する条例	委員の人数を10人から15人に改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6	公設宮代福祉医療センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	リハビリテーションの定員を30人から50人に改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
7	宮代町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	感染拡大防止と利用者保護のため施設設置基準の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
8	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11	令和2年度一般会計補正予算（第7号）	東小教室新設工事など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	税制改正によるシステム改修費の増など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
13	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	保険基盤安定負担金の確定に伴う減	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
14	令和2年度下水道事業会計補正予算（第3号）	ステイホームによる排水量の増による負担金増	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
15	令和3年度一般会計予算	※P2～5	可決	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	-
16	令和3年度国民健康保険特別会計予算	予算総額 35億2,969万円	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	令和3年度介護保険特別会計予算	予算総額 30億9,059万円	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
18	令和3年度後期高齢者医療特別会計予算	予算総額 5億4,556万円	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
19	令和3年度水道事業会計予算	予算総額 14億7,048万円	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
20	令和3年度下水道事業会計予算	予算総額 16億9,767万円	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
21	令和2年度一般会計補正予算（第8号）	集団・個別接種委託料など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
22	令和3年度一般会計補正予算（第1号）	※P6～7	否決	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書第1号	重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書	※P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

町政をたただす

一般質問は2月22日、24日、26日の3日間で行いました。

13人の議員が登壇し、新型コロナ対策、教育関係、ごみ処理問題など51項目にわたり、町の考えをただしました。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものです。



本会議の様子

通告順(発言順)の記載でなく、抽選順としています。

一般質問項目一覧

1. 角野 由紀子 議員……………P11

- ① 避難行動要支援者に対する取り組み促進・強化
- ② 地球温暖化対策、町ですべきことは
- ③ 文珠院橋の橋名板
- ④ 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

2. 浅倉 孝郎 議員……………P12

- ① コロナワクチン
- ② 小中学校の入学式
- ③ 小中学校の入学準備など
- ④ 小中学校及び役場庁舎のトイレ
- ⑤ ごみ問題
- ⑥ 町の財政

3. 塚村 香織 議員……………P13

- ① 安心な暮らしの為に感染対策支援や対応
- ② 小中学校における情報手段のデジタル化の推進を
- ③ HSC(ハイリー・センシティブ・チャイルド)や発達障害のある児童生徒への理解を
- ④ 生活困窮者自立支援法に基づく、子どもの学習支援

4. 山下 秋夫 議員……………P14

- ① 新型コロナウイルス対策
- ② 緊急事態宣言発令時における一時避難できる施設の確保を
- ③ 宮代郵便局付近の歩道の整備を

5. 土淵 保美 議員……………P15

- ① 緊急事態宣言下における対策は
- ② 地域の力となる地区コミュニティセンター事業
- ③ 都市計画マスタープラン

6. 西村 茂久 議員……………P16

- ① ごみ処理、町の未来は
- ② 町のコロナ対応
- ③ 小・中学生の眼軸近視

7. 小河原 正義 議員……………P17

- ① 新型ワクチン接種について。
- ② コロナ対策の改正コロナ特措法
- ③ 第5次総合計画
- ④ 久喜宮代清掃センター跡地

8. 丸藤 栄一 議員……………P18

- ① 新型コロナウイルス感染から市民のいのちと健康を守るため、PCR検査の拡大を
- ② 介護保険料の値上げはストップを
- ③ 難聴者の補聴器購入に町の補助制度の創設を

9. 合川 泰治 議員……………P19

- ① 空地・空家の有効活用を
- ② 移動スーパーの検討を
- ③ 町の観光事業への取り組み
- ④ 消防団員の免許取得への補助制度の創設を

10. 丸山 妙子 議員……………P20

- ① コロナ禍における相談対応
- ② 新しい村周辺の整備の予定は
- ③ ぐるる⇄久喜駅間のバス乗り継ぎ割引を
- ④ 総合運動公園内の子供スペースの整備とベンチの増設を

11. 金子 正志 議員……………P21

- ① 令和3年度 町の予算編成は
- ② 知事のボーナス100%カットの評価は
- ③ 町長報酬20%減額の継続を
- ④ 宮代町と杉戸町とで病院誘致を
- ⑤ 小中学校の適正配置は2町の枠組みで
- ⑥ 公共施設の更新整備は
- ⑦ GIGAスクール

12. 泉 伸一郎 議員……………P22

- ① 新型コロナ対策
- ② 新型コロナのワクチン接種
- ③ 災害対策

13. 川野 武志 議員……………P23

- ① 町道や商店街への防犯カメラ・防犯灯の増設
- ② 法令違反の土地利用の是正に向けた町の取組み
- ③ 宮代町の人口増や企業誘致の働きかけ

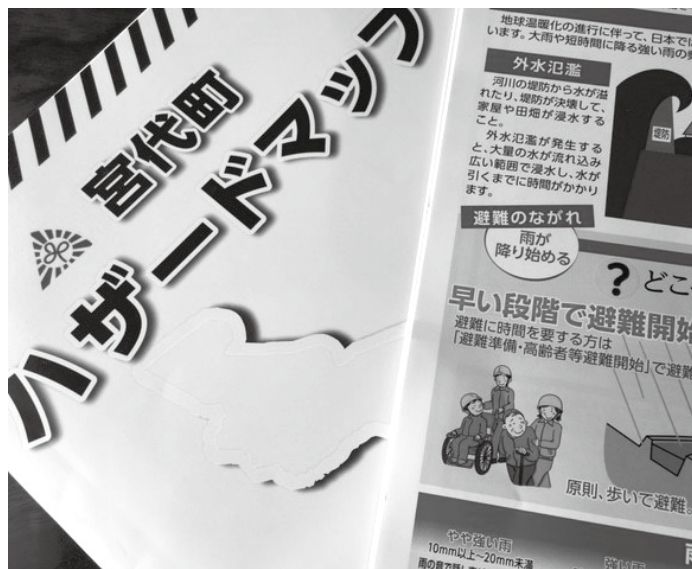
㊦ 白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。



かどの ゆきこ
角野 由紀子 議員

要支援者の避難にかかる個別計画の策定を

123人作成済み、地域の理解と協力が必要



個別計画＝災害時ケアプラン！地域防災力の向上に

問 避難行動要支援者への取り組み強化を、災害時ケアプラン作成を考えるべき。
答 健康介護課長
23の自主防災会は、避難行動要支援者支

援制度に基づいた名簿を受領している。支援者の善意による地域活動が必要不可欠であり、理解と協力をもらい、取り組みを進めたい。

地球温暖化対策を

問 役場の照明のLED化を早急に。

答 町民生活課長

庁舎内LED化は、令和3年度当初予算に計上。年間消費電力量は、66%削減できる。

文珠院橋に橋名板を

問 和戸駅近くの橋は橋名板がない。文珠院橋と分かるようにしてほしいが。

答 まちづくり建設課長

町が管理している橋は、99橋あるが、全ての橋に橋名板を設置するのは困難。延長が15m以上となる文珠院橋、稲荷橋、番先橋に、耐震補強工事とあわせて橋名板を設置する。

廃棄物処理基本計画

問 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の何を見直す予定か。

答 町民生活課長

久喜市のごみ処理



耐震化と、路面も安全に。橋名板もつけられます！

問 動向を踏まえ、宮代町にふさわしいごみ処理となるよう検討する。

答 ごみの減量化・資源化の目標値、ごみの分別・収集・運搬、住民への啓発など検討を予定している。

使用済紙おむつ再生

問 紙おむつの再生利用の検討をお願いしたい。

答 町民生活課長

今後、調査研究していく。



制服などのリユース活動の実施を

学用品などの再利用は望ましい



あさくら たかお
浅倉 孝郎 議員



制服やジャージ、体操着などのリユース活動が保護者から強く要望されている

問 小中学校の入学式は昨年度通り、保護者の参加はできるのか。2人参加できるようにしてほしいが。

答 教育長
保護者の参加は考えている。人数は会場の広さや新入学児童生徒数など、学校の実情を考慮する。

問 町内の子どもの貧困率は。生活困難者への就学援助は。

答 教育推進課長
県の「子ども生活に関する調査」によると生活困難者は県平均が9・3%、町は10・2%。就学援助として新入学児童生徒の学用品購入費の支援をしている。

問 全国でPTAと学校が協力して「制服のリユース」※活動をしている中学校が増えている。町として取り組めないのか。

答 教育推進課長
PTAのバザーなどの場を活用して、学用品などが再利用されることは望ましいと考えている。

問 小中学校のトイレの洋式化は進んでいるのか。

答 教育推進課長
学校施設の個別施



洋式化された体育館のトイレ（百間小学校）。災害時も安心

設計画を策定し、またコロナ対策の地方創生臨時交付金などを活用して洋式化を図っていく。

衛生組合跡地利用は

問 衛生組合の跡地に、資源物の中間処理施設やバイオガス発電施設の設置を。

答 町民生活課長
久喜市、宮代町、

久喜宮代衛生組合の3者協議で考える。

財政緊急事態宣言を

問 「財政緊急事態宣言」を出して行財政改革を行うのか。

答 企画財政課長

毎年度、規律ある財制運営、予算編成に努めているので、「宣言」は考えていない。



録画配信

※制服のリユース：卒業生が制服やジャージなどを寄付し、PTA や学校、行政などが協力し、無償もしくは有償で、新入学生などにゆずる活動

情報手段のデジタル化を

保護者や学校の負担軽減になる



つかむら かおり
塚村 香織 議員



文部科学省が進める押印見直しやデジタル化

「**問** コロナ禍や時代の変化に合わせて、小中学校の欠席届を見直すことは可能か。」

答 教育長

体温や出欠席を管理できるデジタル健康観察アプリは予算も伴うことから広く研究していく。

「**問** 保育園、小中学校で感染者が出た場合の対応や配慮を伺う。」

答 子育て支援課長

臨時休園・休業対応には迅速な連絡とともに、個人への風評被害への配慮や、人権を守るための問題提起、啓発に努めている。

「**問** 児童生徒の心の健康を守ることは最優先課題です。HSC※や発達障害の特性を持った子ども達への理解は全ての児童生徒への環境改善に繋がります。学校、家庭への啓発動画などの配信は可能か。」

答 教育長

学校の研修の機会に扱うことは価値あるものと考えているが、

「**問** 学校の消毒や環境整備などをするスクールサポートスタッフが4月から廃止になる。今後配置または、ボランティアを募ることはできないのか。」

答 教育長

国の状況を見ながら、補助していただければ、スタッフ、ボランティアも積極的に導入したい。

「**問** 児童生徒の心の健康を守ることは最優先課題です。HSC※や発達障害の特性を持った子ども達への理解は全ての児童生徒への環境改善に繋がります。学校、家庭への啓発動画などの配信は可能か。」

答 教育長

学校の研修の機会に扱うことは価値あるものと考えているが、

「**問** 児童生徒の心の健康を守ることは最優先課題です。HSC※や発達障害の特性を持った子ども達への理解は全ての児童生徒への環境改善に繋がります。学校、家庭への啓発動画などの配信は可能か。」

答 教育長

学校の研修の機会に扱うことは価値あるものと考えているが、

「**問** 児童生徒の心の健康を守ることは最優先課題です。HSC※や発達障害の特性を持った子ども達への理解は全ての児童生徒への環境改善に繋がります。学校、家庭への啓発動画などの配信は可能か。」

答 教育長

学校の研修の機会に扱うことは価値あるものと考えているが、

宇暮付き再配信

発達障害の子どもに

みられる不登校

講師 **本田 秀夫 氏**

信州大学 医学部子どもこころの発達医学教室教授
医学部付属病院 子どもこころ診療部・部長 精神科医

【経歴】 東京大学医学部を卒業後、東京大学医学部附属病院、国立精神・神経センター・筑波病院、横浜市総合リハビリテーションセンター、山梨県こころの発達総合支援センター所長、信州大学、医学部附属子どもこころの発達医学教室発達支援センター所長に在職。2019年10月、NHK「プロフェッショナル-仕事の流儀-」に出演。
*発達障害を診るスペシャリスト「日本脳神経精神科」と紹介される。

発達障害の子どもたちは、物事の理解のしかた、感じ方、興味のもちかた、集中のしかたなどが平均的な子どもたちと異なるため、日常生活がスムーズに送ることが難しくなります。なかでも、一斉授業指導を継続した集団授業環境、成績競争の争奪戦によって本来の能力が十分に発揮できず、結果として不登校となっている中学生のなかで、発達障害の子どもも占める割合が多いと言われています。この講座では、発達障害のある子どもたちが不登校になる要因について解説するとともに、不登校の予防と対応について学びます。

対 象 発達障害支援に関わっている方

配信方法 埼玉県公式動画アカウントリタイムどうぶつ(YouTube)にて一般公開中

視聴方法 <https://youtu.be/t-4LohF3aQA>
URLまたはQRコードがおりてまいります。

配布資料 下記URLからダウンロードできます。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0614/siryoushi.html>
埼玉県発達障害総合支援センター 資料集

備 考 この講座の開催は、令和2年9月8日から14日まで配信されたものに宇暮をつけたものとなっております。
*動画配信にかかる通信料等は、視聴される方が負担となります。
一部、録画可能な部分となります。録画の際は、YouTube等の使用も推奨いたします。
*講演の録音・撮影、および資料の二次利用、詳細内容のSNSへの投稿は 厳禁とさせていただきます。
この講座の録音が視聴次第、著作権・肖像権等に対しておこなったことをご確認ください。
埼玉県発達障害総合支援センター TEL:048-601-5551 FAX:048-601-5552
〒350-0081 さいたま市桜区桜木1-2-1 発達障害センター 埼玉県庁舎

お問い合わせ 埼玉県発達障害総合支援センター TEL:048-601-5551 FAX:048-601-5552
〒350-0081 さいたま市桜区桜木1-2-1 発達障害センター 埼玉県庁舎

埼玉県・公益財団法人明治安田こころの健康財団共催、明治安田生命保険相互会社後援

学校のいじめや不登校などの課題をわかりやすく解説



録画配信

※ HSC (ハイリー・センシティブ・チャイルド)：繊細で感受性が豊かな子ども。5人に1人はこの特性を持っているといわれている。

PCR検査の充実と水道料金の減免を

高齢者施設従事者にPCR検査を予定



やました あきお
山下 秋夫 議員



コロナ禍で水道料金の減免を

問 感染者を増やさな
いたためPCR検査の
充実と、町内の教育
施設での感染対策、
水道料金の減免を。

答 健康介護課長
PCR検査結果に
ついては、検体採取
後に感染する場合も
あり、どの程度、信
用するか疑問を持つ。

全員を対象とする検
査が必要かについて
は、慎重に判断する。
答 教育長

日常の朝の検温・
消毒・マスク着用な
どの実施、感染防止
に必要な物品などの
購入。また、感染を
責めたり、特定をし
たりすることがない
ように指導している。

答 まちづくり建設課長
水道事業会計単独
での減免は、水道料
金の値上げが早まる
ことにつながる。納
付が困難な場合は、
猶予などの措置を
行っている。

**新型コロナの一時
避難場所を**

問 町は自宅待機して
いる感染者や、家族
が避難できる施設の
提供を。

答 健康介護課長
避難者が誹謗中傷
を受ける心配がある。



歩道整備は、もう少しのところまで進みました

避難所の設置にあ
たっては、さまざま
な想定をして対応し
なければならぬ。

郵便局前歩道整備を

問 東武動物公園駅周
辺整備は進んでいる
が、宮代郵便局前の
歩道整備が進まない
原因と対策は。町が

土地の斡旋を。
あっせん

答 まちづくり建設課長
現在の場所に残る
ことを前提に話し合
いを進めているため
他の場所に移転する
ことを、町が提案す
ることは想定してい
ない。早期整備に向
けて、今後も県と連
携・協力していく。



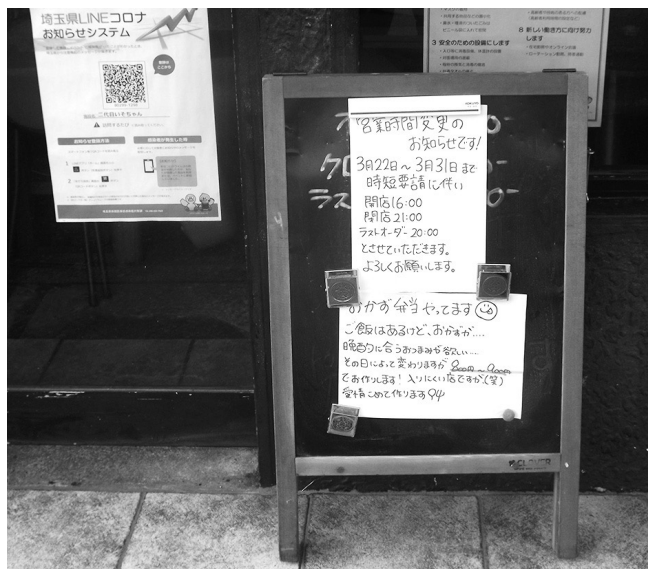
録画配信



つちぶち やすみ
土淵 保美 議員

第2回目の緊急事態宣言下における対策は

予防対策経費を上限10万円の範囲で助成



がんばっている町内商工業者に対して新たな支援は

問 町内商工業者に対する新たな支援対策はあるか。
答 産業観光課長 飲食店の予防対策経費への助成や、セーフティネット保証の認定により、金

融機関から融資を受けた中小企業者への支援金のほか、相談窓口設置などにより支援を継続する。
問 学校教育に関して新たな支援対策はあるか。
答 教育推進課長 感染防止対策として各学校に40万円の衛生用品の追加購入やトイレの環境改善など、必要な感染症対策を行い健全な学びと教育活動を支援する。

問 地区コミュニティセンター事業とは具体的に計画やモデル地区の選定基準について。
答 町民生活課長 地域コミュニティや地区・自治会をサポートする地区担当者を配置し、自治会活動などをサポートする拠点を開設する。令和3年度に策定する実施計画に基づいて選定したい。



姫宮駅周辺に地区コミュニティセンター開設を

問 次期計画の着眼点は。
答 まちづくり建設課長 持続可能なまちづくりに向けてコンパクト・プラス・ネットワーク、SDGs、国土強靱化などの社会潮流を踏まえて20年先を見据えたまちづくりの目標を設定している。

久喜市に事務委託を申し入れた経緯は 共同処理は市の住民感情から難しいため



にしむら しげまさ
西村 茂久 議員



久喜宮代清掃センター1・2号焼却炉ピット入口

問 久喜市へ事務委託を申し入れた経緯は。

答 町民生活課長

久喜市は3清掃センターで行っているごみ処理、し尿処理を統合し、ごみは菖蒲、し尿を八甫の各センターへ統合する結論に至った。宮代町のごみを組合で共同処理することは市

の住民感情から難しく、ごみ処理を事務委託でお願いした。

問 事務委託の内容は。

答 町民生活課長

ごみの分別、収集・運搬などは町で行い、焼却などのごみ処理を委託する。

問 宮代町の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画と、町のごみ処理の未来は。

答 町民生活課長

久喜市のごみ処理の動向を踏まえ、町にふさわしいごみ処理となるよう検討し、計画に反映させていきたい。

問 跡地利用の協議は。

答 町民生活課長

現時点では組合の解散時期、施設の解体時期などの具体的な協議は行っていない。今後、市、町、組合の3者で検討を



町のために業務が北本地区衛生組合へ移る、し尿処理施設全景

予定しており、跡地利用についても協議されていくものと考えている。

問 小中学生の眼軸近視

問 眼軸近視について、町で把握している現状と対策は。

答 教育推進課長

裸眼視力1.0未満

の割合は小中学校とも令和元年度調査では町の結果は全国を下回っている。視力測定では眼軸長の過剰な伸張の把握は困難である。

来年度、国が実施予定の近視実態調査を踏まえ、必要な対策を講じていく。



録画配信

担い手の農業者の支援を

町独自の制度として補助をする



おがわらただし
小河原正 議員



農業就業者が高齢化する中で担い手の支援に努める

問 担い手の農業者の支援を。
答 産業観光課長
農業就業者が急速に減少し高齢化する中で、意欲ある担い

手の育成及び確保が不可欠となっております。新規就農者の育成はますます重要になる。また、担い手が主体性と創意工夫を発揮して、農地の集積、集約化を促進していく必要がある。

町独自の制度として、意欲のある農家が耕作条件を改善するため暗渠排水施設あんきょの整備、用排水路の浚渫費用しゅんせつなどを補助の対象としている。

さらに、農業機械などの購入や園芸施設えんぎしつの設備投資は、一定の面積要件は設けているが、購入費用の1/2以内、上限250万円の補助を



久喜宮代清掃センター跡地は公園化の要望が強い

清掃センター跡地の公園化を

する。

問 久喜宮代清掃センターの跡地は、今日までの経緯からは公園化する予定ではなかったか、近隣住民の方々からは、公園化の要望が強かったはずだが。

答 町民生活課長

今後、久喜市、宮代町、久喜宮代衛生組合の3者で、施設

の撤去と併せて跡地利用について協議していく。

ワクチン接種

問 ワクチン接種を具体的に説明を。

答 健康介護課長

集団接種は、進修館とぐるる宮代で実施。個別接種は、かかりつけ医療機関で実施（現在調整中）。予約は、町コールセンターに申し込むようになる。

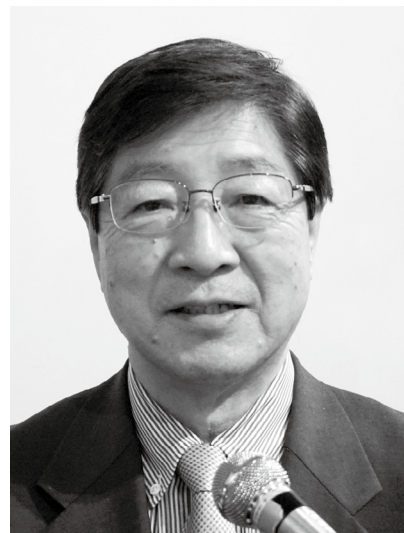


PCR検査の抜本的な拡充を

高齢者施設の職員を対象に実施したい



PCR検査の検体を採取する病院職員（写真提供：しんぶん赤旗）



がんどう えいち
丸藤 栄一 議員

問 宮代町ではPCR検査で無症状の感染者を含めた感染者の発見、保護・隔離する取り組みは待ったなしである。

答 健康介護課長

高齢者が入所している施設への外部からの新型コロナウイルスの持ち込みを、できる限り防止するため、町内の入所系高齢者施設の従事者を対象に町単独でのPCR検査を実施したいと考えている。

介護保険料は値上げしないように！

問 今年4月からの第8期介護保険料はどのようになるのか。

答 健康介護課長

新型コロナウイルス感染症拡大による町民への経済的影響が大きい中、被保険者の負担を考慮した。

また、介護給付費の推計を精査するとともに、介護保険給付費準備基金をほぼ全額取り崩すなど、可能な限り改正額を少なくなるよう努め

た。

問 現在の入所待機者数は何人か。

また、第8期事業に増床計画はあるのか。

答 健康介護課長

待機者数は2020年4月1日時点で24人。今すぐ入所希望が13人、1年以内に入所希望が2人となっている。

入所定員が29人以下の地域密着型介護

老人福祉施設1か所の整備が計画されている。

難聴者の補聴器購入に町補助制度を

問 補聴器は15〜30万円と高価で、年金暮らしの高齢者には手が届かない。

答 健康介護課長

国などの動向を踏まえ、研究を行っていききたい。



高齢者が快適な生活を送るために補聴器助成を





あいかわ たいじ
合川 泰治 議員

移動スーパーの実施を

複数の事業者から申し入れがきている



移動スーパーを全地域へ

岡宮代町の高齢化の傾向から、移動スーパーによるサービスの実施が必要と考えるが、町の見解は。

答 健康介護課長

第5次総合計画実行計画事業として、

「高齢者困りごとサポート隊事業」を位置付けている。地域交流サロンの活動を一歩進め、助け合い活動の場としても活躍してもらうことを検討している。

また、多様な主体の代表者により構成される協議体で、移動スーパーを含めた買い物支援についての話し合いが進められている。

なお、移動スーパーは、すでに町内において事業展開している事業者や複数の事業者からの申し入れもあるが、新たな事業所の進出を排除することはない。その



消防団はまちの防人

求めに応じて情報提供をしていく。

消防団員の準中型免許取得への補助制度を

岡宮代町は、消防団になる方が消防ポンプ自動車や消防ポンプ自衛隊に準中型免許が必要になる。そこで、免許取得の補助制度の創設を。

答 町民生活課長

今後、平成29年3月12日以降の普通運転免許を取得の消防団員が増えることが予想され、町の消防団活動に支障が生じることも想定される。新たな補助制度の創設は、近隣市町の状況など調査していきたい。



ぐるる⇔久喜駅間のバス乗り入れ割引を 利用促進に繋がる前向きな提案を検討



まるやま たえこ
丸山 妙子 議員



1区間の乗車割引で元気に出かける回数が増える

固町内循環バスと久喜市循環バスが乗り継ぎしやすくなった。ぐるる宮代からの1区間だけの利用後、乗り継ぐが、高齢者が元気に買い物などに出かけられるよう、割引制度の導入の考えは。

企画財政課長

ぐるる宮代から沖ノ後バス停までの1区間利用の割高感や、負担感があることは理解している。相互乗り入れの実現までの代替的な措置のひとつとして、割引制度は有効な措置と考え検討する。

コロナ禍における相談体制は

固町の相談業務は、今まで以上に町民に寄り添った対応が必要と考える。今後の各課の対応は。

答副町長

コロナ禍で生活環境などが大きく変化している中で、これまで以上にきめ細やかな対応が必要になると考える。

各課の相談業務は、相談者の声を丁寧に聞き取り、相談者の置かれた状況や心情

新しい村周辺の整備

などを把握し、相談者に寄り添いながら、求められる支援を行うよう努めていく。

新しい村魅力アップ

固老朽化した施設の修繕やエリア内の適正な管理を住民や来場者は望むが、いかがか。



新しい村の大きな整備の時期がきている

答産業観光課長

開設後20年が経過し、老朽化が進んでおり、小さな修繕では間に合わない時期が来ると考えている。新しい村魅力アップ計画を策定していく中では、本体を含め改修の方針についても検討していきたい。



録画配信



かねこ ただし
金子 正志 議員

宮代町と杉戸町とで病院誘致を

利根保健医療圏に働きかけを行う

■宮代町の面積と人口比率

宮代町	1,595ha	3万 3,705人
市街化区域	366ha (23%)	2万 3,620人 (70%)
市街化調整区域	1,229ha (77%)	1万 85人 (30%)

■杉戸町の面積と人口比率

杉戸町	3,003 ha	4万 5,495人
市街化区域	470 ha (16%)	2万 8,157人 (62%)
市街化調整区域	2,533 ha (84%)	1万 7,338人 (38%)

人口は宮代町・杉戸町の隣接する市街化区域に集中している

〔問〕東埼玉総合病院は昭和48年に杉戸町内に開設された。平成24年に幸手市に移転して早9年になる。宮代町は県に、東武動物公園駅西口の広

場に病院誘致を申請したが、残念な結果に終わった。杉戸町・宮代町の住民から、病院の誘致を望む声が多い。行政が一体となって、県に働きかけるのが住民のためである。町の考えは。

〔答〕健康介護課長

第8次埼玉県地域保健医療計画において、宮代町と杉戸町が属する利根保健医療圏における増床が認められるよう、働きかけを行っていく。

小中学校の適正配置

〔問〕人口が集中する2町で学校配置の検討を。

〔答〕教育推進課長

審議会での検証過程において、杉戸町との広域での検討の必要性があるとの認識には至っていない。

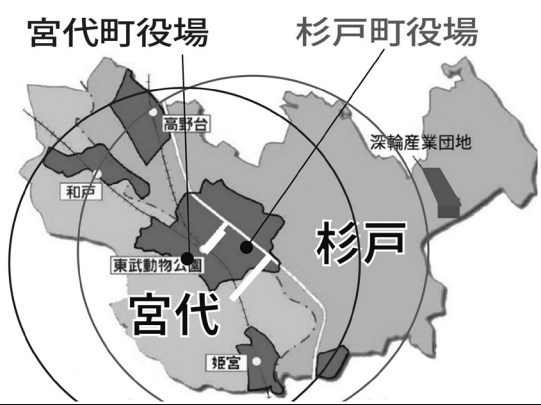
ICT授業の準備は

〔問〕学校教育のICT化の動きが加速している。オンライン授業やデジタル教科書など、端末活用に教員の準備は。

〔答〕教育推進課長

児童生徒ひとりにつき1台の情報端末の導

住宅地は2つの役場から4 km内に集中する



病院の誘致、小中学校の適正配置などは両町一体となり取り組むことが望ましい

ICT授業の準備は、全教職員を対象とした研修の実施、各学校の核となる教職員に向けた研修を2回設定するとともに、令和3年度は、月に1回程度の活用についての研修、情報交換の場を設定し、導入への準備、導入後の研修計画を鋭意進めている。

〔答〕教育推進課長

入後、学校教育に有効に活用していくためには教員の準備が重要となる。グループと連携し、



新型コロナ対策の更なる支援拡大は 商工業者や高齢者施設の支援拡大を図る



いずみしんいちろう
泉 伸一郎 議員



ワクチン保存用の超低温フリーザー（保健センター）

問 緊急事態宣言のもと、町の支援は。

① 飲食店や関連事業者への支援

② PCR検査の実態

③ 福祉施設や介護施設への支援

答 産業観光課長

① 「新型コロナウイルスウィルス感染症予防対策事業費補助金」や「宮代町セーフティネット保証

等認定中小企業者支援金」などを実施し、商工会の相談窓口も期間を延長していく。

問 健康介護課長

② 感染症については国・県で対応することになっており、市町村には検査実施数などの情報が示されていない。

③ 町内の入所系高齢者施設の従事者を対象に町単独でのPCR検査を実施したいと考えている。

問 ワクチン接種

問 新型コロナウイルス対策のワクチン接種について、所管課の体制、接種施設、予定接種者数、医師会との協力体制などを伺う。

答 健康介護課長

健康増進室に新たにワクチン接種推進担当を設け、6名体制で準備を進めている。進修館・ぐるる



校庭の下を通水して笠原沼落川へ排出するパイプ出口

宮代にて実施し、約3万人の2回接種を予定している。また接種の協力医の確保に努めている。

問 浸水対策ポンプ

問 笠原地区の浸水対策工事のポンプテストについて伺う。

答 まちづくり建設課長

昨年10月に通水試験を行い、第5排水路の水が勢いよく笠原沼落川に排出された。定期的にポンプ設置訓練などを実施し、迅速な対応と最大限の効果が得られるよう努めていく。



録画配信



かわの たけし
川野 武志 議員

残土の山の土壌調査結果と住民への説明は

基準を超える有害物質は検出されず



早期の残土の解消に向けた解決策は！

月21日に県が土壌のサンプリング調査を行い、重金属などの第二種特定有害物質の溶出量基準に達したものはないと報告を受けた。今後は、住民への説明や残土の解消に向けた対応策を県と相談していく。

防犯カメラ増設は

町の見解は。防犯カメラ増設は町の見解は、

町の見解は。

防犯カメラは、安心・安全な社会づくりに有効なツールと認識しているが、費用などを考えると、

まずは、地域一体と

まずは、地域一体と



町道などにも、安心・安全な社会づくりに防犯カメラの設置を！

なつて防犯意識を持つことが重要と考える。

防犯カメラ設置に

対する商店(会)などへの補助金創設についての町の考えは。

産業観光課長

「宮代町商工業活性化事業補助金」は、防犯カメラ設置の費用も補助対象となるが、商工会加入が条件となる。

企業誘致について

企業誘致に向けた

今後の取り組みと、進出希望企業への支援策は。

産業観光課長

次期都市計画マスタープランで「土地利用検討ゾーン」に位置付けた和戸駅周辺や姫宮駅西側地区において、ポテンシャルを活かした沿道サービス施設や産業系土地利用の可能性を模索するとともに、進出に希望の企業を積極的に後押しする施策を検討していく。

町法令違反の土地利用の是正に向けた町の取り組みは。

町民生生活課長

和戸駅西側の残土の山に関しては、12





町民の声



よだ シゲ子さん (中島)

宮代町に移り住み45年。3人の子育てを通して、多くの人たちに出会い支えられて、今日まで来ました。今、強く思うのは、人とのつながりの大切さです。

縁があり、民生委員・児童委員として十数年になります。初めは不安で慣れないことばかりでしたが、先輩方のアドバイスや訪問支援を重ねることで、信頼関係を築き、とてもやりがいを感じるようになりました。少子高齢化・核家族化が進み、介護や子育てへの不安などの問題に、「身近な存在として、行政へのつなぎ

手となり、誰もが安心して暮らせる地域づくりのお手伝いができるように」という想いで活動しています。皆さんもきつと嬉しいのはずです。

現在、地域により民生委員・児童委員の欠員が多いことを大変、残念に思います。「きつと待っている人がいるはずですよ」。地域のみなさんに必要とされる喜びを心の糧とし、民生委員・児童委員として地域に目を向けた活動を続けていきたいと思っています。

高齢者や子どもに優しい、そんなまちになるよう、議会に期待しています。

議会を傍聴しませんか

6月議会の予定は

5月27日(木) 午前10時開会
進修館(議場)

一般質問は6月1日(火)・2日(水)・4日(金)

間中学校入学式



表紙の写真紹介

新しい未来がスタートしました。桜が舞い散る中で行われた中学校の入学式。初めての制服に包まれ、希望と期待、そして不安が入り混じり、さぞかしドキドキしたことでしょう。

中学時代は、勉強に、部活、仲間たちとの活動など、人間として大きく成長する時です。「未来は決して君たちを裏切らない」。10年後の君たちが宮代町の輝く星になっていることに、期待をしています。

今回から一般質問のページに各議員のQRコードを載せました。詳しい内容は録画配信を **check!**

5月の町民と議員との議会懇談会は **コロナ禍により中止**といたします。



左上から泉委員、金子委員長、塚村副委員長、浅倉委員、丸藤委員

編集後記

「議会だより」は、それぞれの会派の議員からなる議会広報委員会が、一から作っています。こうした作り方は、全国的に珍しく、それだけに、毎号、大変な思いで編集作業をしています。

私は、「議会だより」を読めば「宮代町の現在、そして未来を見ることが出来る」ということを心がけて編集をしています。

私たちが宮代町の未来に、どんなことができるのか。そんなヒントが隠されているのも、実は「議会だより」なのかもしれません。わくわくするようなまちの未来を、「議会だより」から想像してみませんか。(浅倉)